

# 家内安全と商売繁盛

【大阪】「創業以来の守り神」――。越野運送（大阪市都島区）の越野泰弘社長は社長室に置かれた大黒天の木像を前にこう話す。

1932年に祖父の友次郎氏がオート三輪で越野急配を

## 大黒さま



社長室に置かれた大黒天の木像

盛の縁起物として贈られたものだという。「祖父が越野急配を始めた時から事務所にあつたと聞いてい

## 創業時の守り神

### 越野運送

（越野社長）

戦時統合を経て53年に一般貨物運送事業の免許を取得し、越野運送として再出発。ところが、67年に従業員寮か



ウオッチ

ら出火、付近への類焼は何とか避けることができたが、事務所と自宅も全焼した。越野氏は「古い写真や記録はその時に焼失して残っていないが、大黒さまだけは何と

か持ち出せて無事だった。父（越野圭一前社長）は生前、『類焼も犠牲者もなかったのは大黒さまのお陰』と言っていた。その時についたススは「今も残っている」と語る。

2007年に本社を新築した際、自宅に移そうかとも考えたものの、「創業時からの縁起物だから」と奇麗に「お身ぬぐい」をして新しい社長室に置いた。「その時に背中や台座に古い書き込みがたくさんあるのが見付かり、先祖が大黒さまに託した家内安全、商売繁盛の願いが伝わってくる思いがした。これからも大切にしていきたい」

（小菓 史和）